



令和3年度
「国立科学博物館 大学パートナーシップ」
利用来館者調査
〈アンケート調査結果〉

令和4年1月

独立行政法人国立科学博物館
事業推進部 学習課



1. 「国立科学博物館大学パートナーシップ」制度について

独立行政法人国立科学博物館は、大学、短期大学、専修学校（専門課程）及びこれらを設置する法人と連携・協力し、学生の科学リテラシー及びサイエンスコミュニケーション能力の向上に資することを目的として、平成17年7月より「国立科学博物館大学パートナーシップ」制度を開始した。

本制度に入会申込を行い、学生数に応じた一定の年会費を納めた大学等（入会校）の学生に対し、以下のような連携プログラムを提供している。

① 常設展の無料入館、特別展の特別料金での観覧

入会校の学生は、学生証を提示することで、国立科学博物館上野本館の常設展、附属自然教育園（東京都港区）及び筑波実験植物園（茨城県つくば市）に無料で何度でも入館（入園）できる。

また、上野本館で開催される特別展は、一般・大学生料金より630円引きで観覧できる。

※特別展によって630円引きにならない場合がある。

② サイエンスコミュニケーター養成実践講座（平成18年度より）

科学と社会との架け橋となるサイエンスコミュニケーター養成のための実践講座。

入会校の学生を優先的に受入れ、また、入会校の学生は通常の半額で受講できる。

③ 大学生のための自然史講座（平成18年度より）

日本列島の自然、自然史について、当館の研究者を中心に様々な分野からアプローチする講座。

入会校の学生を優先的に受入れ、また、入会校の学生は通常の半額で受講できる。

④ 大学生のための科学技術史講座（平成19年度より）

日本の科学技術史に関して、主に当館の研究者が講師となり様々な分野からアプローチする講座。

入会校の学生を優先的に受入れ、また、入会校の学生は通常の半額で受講できる。

⑤ 博物館実習生の受入（平成18年度より2コースを設ける）

博物館学芸員の資格取得を目指す学生に対し、学芸員としての資質・能力を体験的に身につける実習を行う。平成18年度から、調査研究・標本資料の収集保管について実習を行うコースと、学習支援活動について実習を行うコースの2コースを設けている。

原則として入会校の学生のみを受入れる。

⑥ 見学ガイダンスの実施（平成26年度より）

大学のオリエンテーションや講義で当館を利用してもらい、学生に博物館の楽しさや面白さ、見学の仕方を知ってもらうガイダンスを実施。令和2年度より、映像の貸し出しによる遠隔のガイダンスにも対応している。

入会校のみ利用可、各校年2回までの実施。

⑦ 大学との連携事業

自然史に関する実習の機会をより広く提供するため、平成28年度よりお茶の水女子大学との連携事業を行っている。

入会校の学生の優先枠を設け、講座参加者を募集している。

2. 令和3年度入会校

ア行	青山学院大学 麻布大学 桜美林大学 大妻女子大学(短期大学部) お茶の水女子大学
カ行	学校法人香川栄養学園(女子栄養大学・短期大学部、香川調理製菓専門学校) 学習院大学 神奈川大学理学部 慶應義塾大学 工学院大学 国際基督教大学 国際文化理容美容専門学校 国士舘大学文学部 国士舘大学理工学部
サ行	埼玉大学 芝浦工業大学 秀明大学学校教師学部 十文字学園女子大学 学校法人上智学院(上智大学・短期大学部、上智社会福祉専門学校) 聖徳大学(短期大学部・幼児教育専門学校)
タ行	大正大学 玉川大学 多摩美術大学 千葉大学理学部(大学院 理学研究科、融合理工学府(理学領域)) 千葉工業大学 中央大学理工学部 筑波大学 津田塾大学 帝京大学(短期大学) 帝京科学大学 電気通信大学 東海大学 東京大学 東京医療学院大学 東京医療保健大学 東京海洋大学 東京学芸大学 東京家政大学(短期大学部) 東京環境工科専門学校 東京藝術大学 東京工業大学 東京工芸大学 東京国際大学(付属日本語学校) 東京慈恵会医科大学 東京女子大学 東京造形大学 東京電機大学 東京都市大学 東京都立大学 東京都立産業技術大学院大学 東京農業大学 東京農工大学 東京理科大学 東邦大学 東洋大学 学校法人東洋学園(専門学校東洋公衆衛生学院、宮崎医療管理専門学校) 獨協大学
ナ行	二松学舎大学 日本大学生産工学部 日本大学生物資源科学部海洋生物資源科学科 日本大学生物資源科学部くらしの生物学科 日本工業大学 日本獣医生命科学大学 日本女子大学 日本薬科大学
ハ行	文教大学 法政大学
マ行	武蔵野美術大学 明治大学 明治学院大学文学部芸術学科(大学院文学研究科芸術学専攻) 明星大学
ヤ行	学校法人ヤマザキ学園(ヤマザキ動物看護大学・動物看護専門職短期大学・動物専門学校)
ラ行	立教大学 立正大学
ワ行	学校法人早稲田大学(早稲田大学、早稲田大学芸術学校)
計75校	

3. 令和3年度大学パートナーシップ利用入館者状況(4-12月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
上野地区	1,977	※－	1,846	2,606	3,539	3,355	2,499	3,158	3,151	22,131
附属自然教育園	82	※－	63	97	73	138	122	238	174	987
筑波実験植物園	306	305	186	328	242	219	273	241	147	2,247
3施設合計	2,365	305	2,095	3,031	3,854	3,712	2,894	3,637	3,472	25,365

※上野本館、附属自然教育園は臨時休館(園)

<参考>

入館者数の多い大学・学校(上位5校) 利用率の高い大学・学校(上位5校)

学校名	入館者数	学校名	利用率(利用者数/学生数)
東京大学	2,493 人	東京環境工科専門学校	139.2%
筑波大学	2,397 人	学校法人 東洋学園	42.1%
早稲田大学	2,120 人	日本大学生物資源科学部くらしの生物学科	38.4%
慶應義塾大学	1,316 人	東京海洋大学	15.5%
明治大学	1,227 人	筑波大学	14.0%

4. 入館者に対するアンケート調査

「国立科学博物館 大学パートナーシップ」制度の入会校は、令和4年1月現在75校を数える。令和2年以降、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から臨時休館（園）や入場制限等を実施し、従来どおりに来館者を迎えることが難しい状況となったが、その中でも多くの学生が本制度を利用して来館（園）しており、令和3年度は12月までに、月平均3,000名程度が利用している。

本調査は3年毎に行っており、平成30年度に引き続き実施した。経年の変化・当該制度の認知度・利用者の属性等を調査し制度の一層の充実を図るとともに、広報の方法についての検討に活用することを目的として実施した。また今回は、コロナ禍での利用についても調査を行った。

調査概要

調査期間：令和3年10月13日（水）～ 令和4年1月3日（月）

調査対象：国立科学博物館上野本館にて大学パートナーシップ制度を利用し入館した学生

調査方法：オンラインアンケート調査（グーグルフォームを使用） 発券窓口（総合案内及び特別展券売所）にて、入館券発券時にアンケート実施案内（チラシ）を配布

調査項目：巻末の参考資料を参照

有効回答数：766件

（参考：調査期間中の特別展・企画展）

- ・特別展「大英博物館ミイラ展 古代エジプト6つの物語」（10/14～1/12）
- ・企画展「日本の海洋調査への挑戦とあゆみ－JAMSTEC創立50周年記念－」（6/29～3/21）
- ・国立科学博物館・竹中大工道具館共同企画展「木組 分解してみました」（10/13～11/24）
- ・企画展「発見！日本の生物多様性～標本から読み解く、未来への光～」(12/14～2/27)

調査結果要旨

平成30年度調査(前回)の結果と比較し、変化が認められた部分を項目ごとに記述した。また、各項目の特徴的な傾向を下線で示した。

【専攻分野】

理系48.0%：文系44.0%：その他8.0%で理系学生がやや多い。

理系の学生が多い傾向は変わらないが、文系の学生の割合が増えた。

【性別】

男性40.6%：女性57.0%：その他2.3%と女性が多い。

前回調査では男女の割合はほぼ同じであった。クロス集計でも文系女性の割合が増えた。

【一緒に来た人、人数】

「同伴者なし」34.9%が最も多く、次いで「友人と」33.8%、「彼氏・彼女と」14.2%の順となっている。1～2人の少人数での来館が増えており、コロナ禍の影響も考えられる。

【来館回数、大学パートナーシップ利用来館回数】

前回調査と傾向は変わらず、「4回目以上」48.2%が最も多く、本制度を利用しての来館は「初めて」55.7%が最も多い。「これまで本制度を利用しなかった理由」も変わらず、「利用機会がなかった」47.2%が最も多いが、「制度を知らなかったから」24.6%が前回の36.3%に比べて減っている。また、「その他」で「コロナだったから」という回答が複数あった。

【本制度に関する情報源】

「大学ホームページや大学からのメールで」25.9%が他の項目と比べて一番多い。前回調査では「友人・知人に教えられて」「教員からの紹介」のいわゆる「口コミ」が多かった。コロナ禍で通学できず、友人や教員との交流が例年通り行えなかったことも要因として考えられる。

【本制度をどのようにPRするとより利用しやすくなるか(記述式)】

大学・学校での積極的な広報を求める声が多く挙がった(具体的には、入学時のガイダンス等でのアナウンス、ポスター・チラシの設置、授業での紹介、大学・学校ホームページや電子掲示板・学内メールでの周知など)。また当館へ更なる広報の工夫を求める声も多かった(ホームページやポスターへ本制度や入会校をわかりやすく掲載する、Twitter等SNSやメールマガジンによる広報を増やすなど)。

【来館目的】

特別展「大英博物館ミイラ展」36.9%、常設展34.9%、企画展「木組」7.7%の順に多い。前回調査に比べると、特別展を目的に来館した割合が増えた。

【入館料特典(常設展は無料、特別展は630円引き)をどのように感じるか】

「無料(630円引き)だから来館した」32.1%、「無料でなくても来館するが、来館しやすくなった」65.4%と多くの学生にとって、本制度が来館の動機につながっている。

【新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響】

今回調査で特別に設けた設問。「大いにあった」「少しあった」あわせて56.2%、「ほとんどなかった」「全くなかった」あわせて43.9%と、来館に際して影響があったとの回答が半数以上あった。

【具体的な影響(記述式)】

上野本館の入館に予約が必要になったことを挙げる方が多かった。また、外出を控えたことや混雑への不安から、来館をあきらめた、回数を減らしたなどの回答があった。

【見学の印象・感想(記述式)】

特別展(ミイラ展)への感想が多く寄せられた。企画展では「木組」への感想が多かった。常設展では、ヨシモトコレクション・シアター360・恐竜・マッコウクジラ・ノーベル賞受賞者・系統広場・地球史ナビゲーターなどを中心に、広範囲にわたって印象に残った展示の回答があった。館内での「密閉・密集・密接」な状況の発生を防ぐため、体験型展示や一部のサービスを休止しており、残念であるとの声があった。また、展示物が多く導線がわかりにくい、解説をもっと詳しくしてほしい等の声も変わらず寄せられた。(代表的意見は別頁参照)

【本制度に関する意見・要望(記述式)】

常設展を無料で何度も見られるのは大変ありがたく、来館の動機になるという意見が多数であった。一方、特別展の値引き幅を増やしてほしい、制度を知らなかった・周りに知らない人が多いのもっと広めてほしい、未入会校生と来館する際気まずいので入会校を増やしてほしいなどの意見があった。(代表的意見は別頁参照)

【科学技術についてのニュースや話題への関心】

前回調査と変わらず、9割以上が「関心がある」「ある程度関心がある」と回答した。

【科学技術に関する知識の情報源】

全体では「インターネット」72.3%が最も多い傾向は変わらなかったが、今年度から選択肢に加えた「SNS」62.1%が全体2位となった。

「科学館・博物館」を情報源とする割合は全体39.9%と前回の26.0%より増加した。

5. アンケート調査の結果から

回答した学生の学年に偏りはないが、過半数が「制度を利用して来館したのは初めて」と回答している。引き続き来館してもらえるよう、特別展・企画展やイベント等の情報を、タイミングよく高頻度で届ける工夫をする必要がある。また、制度を知らなかった・周りに知らない人が多いという学生へ、情報を届ける工夫をする必要がある。

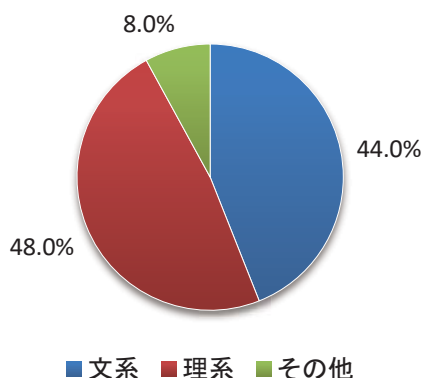
制度に関する情報源として、大学での広報が多く挙げられていることから、入会大学・学校へ更なる協力を依頼するとともに、国立科学博物館も、SNSを利用するなど、学生に伝わりやすい方法で働きかけを行う。

コロナ禍が続き、上野本館の入館予約制や展示の休止等で、引き続き入会校の学生が不便に感じる事が予想される。予約・入館の方法などをわかりやすく情報発信するとともに、オンライン形式による講座等の充実を図る。

- ポスター・チラシ等の掲示・配布について、引き続き入会大学・学校に協力を依頼する。
(生協や食堂など、学生の目に着く場所への掲出を依頼。)
- 上記に加え、学生便覧への掲載・新入生ガイダンスでの紹介やチラシの配布・大学ホームページや電子掲示板への掲載・学内メールでの情報配信等、より認知されやすい方法での周知を依頼する。
(ホームページ等での掲載に向け、電子データでの配布にも対応する。)
- 国立科学博物館ホームページ・館内掲示等の表示について、より目につきやすいよう改善を行う。
- 学生により情報が伝わる方法(Twitter・Instagram等のSNSやメールマガジン)で、より広く広報を行う。
(4月の新学期、企画展・特別展の開催に合わせて情報を発信。)

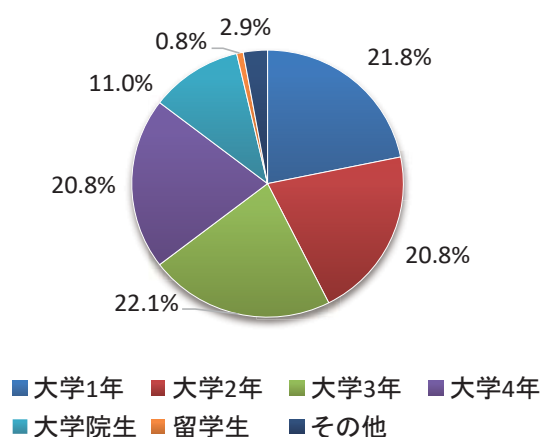
調査結果詳細

【回答者の専攻分野】



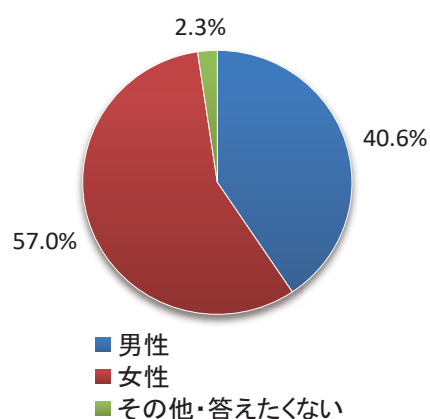
	回答数	構成比率
文系	337	44.0%
理系	368	48.0%
その他	61	8.0%

【回答者の学年】



	回答数	構成比率
大学 1 年	167	21.8%
大学 2 年	159	20.8%
大学 3 年	169	22.1%
大学 4 年	159	20.8%
大学院生	84	11.0%
留学生	6	0.8%
その他	22	2.9%

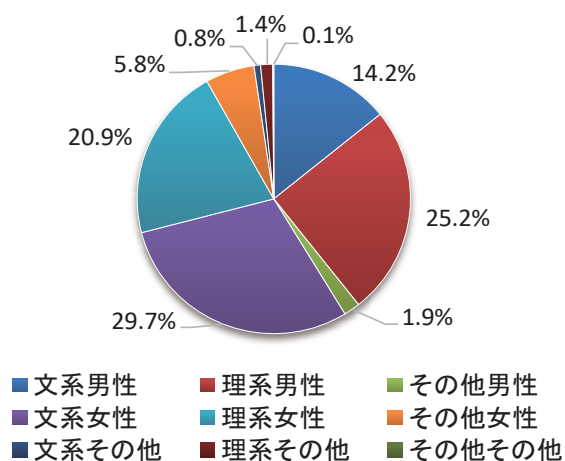
【回答者の性別】



	回答数	構成比率
男性	311	40.6%
女性	437	57.0%
その他・答えたくない	18	2.3%

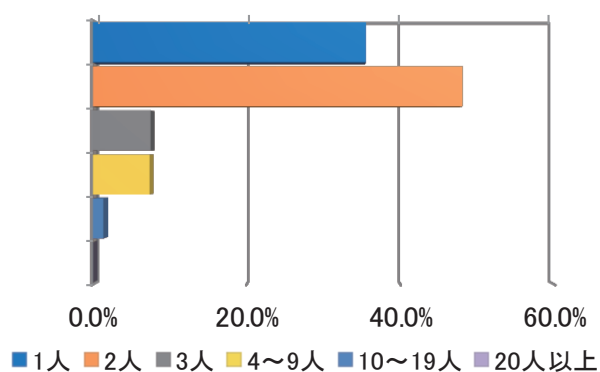
・女性の割合が増えている

【回答者の専攻分野と性別】



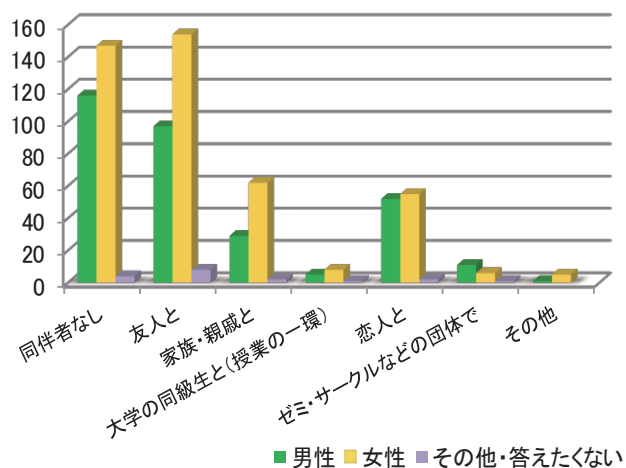
	回答数	構成比率
文系男性	110	14.2%
理系男性	195	25.2%
その他男性	15	1.9%
文系女性	230	29.7%
理系女性	162	20.9%
その他女性	45	5.8%
文系その他	6	0.8%
理系その他	11	1.4%
その他	1	0.1%

【一緒に来た人数、一緒に来た人】



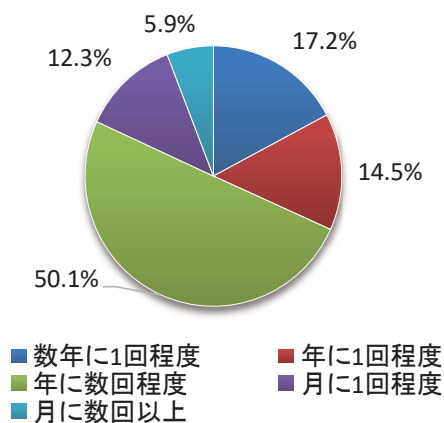
	回答数	構成比率
1 人	272	35.5%
2 人	368	48.0%
3 人	58	7.6%
4 ～ 9 人	57	7.4%
10 ～ 19 人	11	1.4%
20 人以上	0	0.0%

- ・ 1 人～ 2 人での来館が多い
- ・ 1 人での来館が増えている



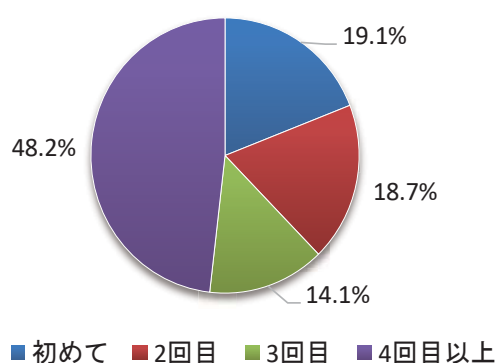
	回答数	構成比率
同伴者なし	267	34.9%
友人と	259	33.8%
家族・親戚と	93	12.1%
大学の同級生と(授業の一環)	14	1.8%
恋人と	109	14.2%
ゼミ・サークルなどの団体で	18	2.3%
その他	6	0.8%

【博物館や美術館へ行く回数】



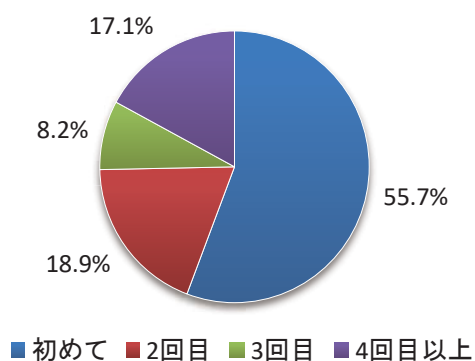
	回答数	構成比率
数年に1回程度	132	17.2%
年に1回程度	111	14.5%
年に数回程度	384	50.1%
月に1回程度	94	12.3%
月に数回以上	45	5.9%

【国立科学博物館への来館回数】



	回答数	構成比率
初めて	146	19.1%
2回目	143	18.7%
3回目	108	14.1%
4回目以上	369	48.2%

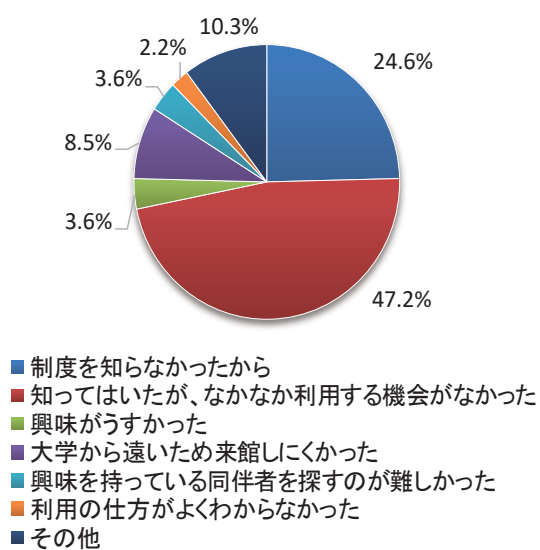
【大学パートナーシップ制度を利用しての来館回数】



	回答数	構成比率
初めて	427	55.7%
2回目	145	18.9%
3回目	63	8.2%
4回目以上	131	17.1%

・「初めて」が半数以上

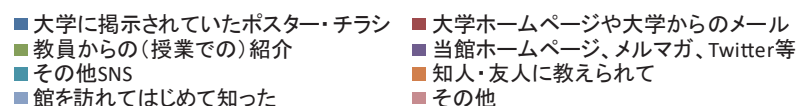
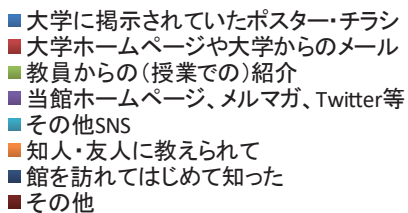
【これまで大学パートナーシップ制度を利用しなかった理由】（複数回答可）



	回答数	構成比率
制度を知らなかったから	124	24.6%
知ってはいたが、なかなか利用する機会がなかった	238	47.2%
興味があうすかった	18	3.6%
大学から遠いため来館しにくかった	43	8.5%
興味を持っている同伴者を探すのが難しかった	18	3.6%
利用の仕方がよくわからなかった	11	2.2%
その他	52	10.3%

・「利用機会がなかった」が半数近い

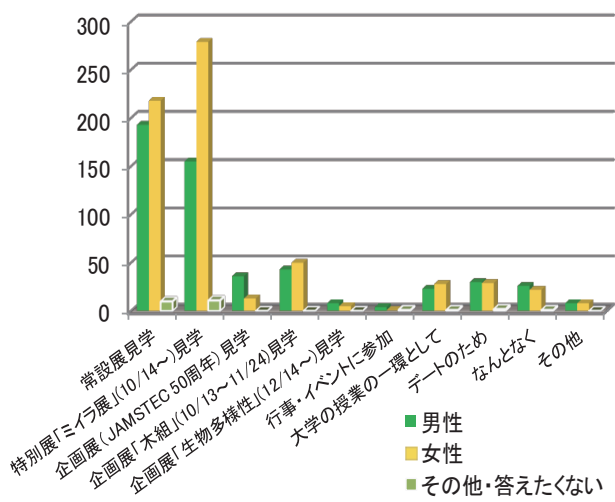
【本制度(入館料特典)に関する情報源】



	文系		理系		その他		全体	
大学に掲示されていたポスター・チラシ	72	6.9%	82	7.9%	18	1.7%	172	16.6%
大学ホームページや大学からのメール	131	12.6%	118	11.4%	20	1.9%	269	25.9%
教員からの(授業での)紹介	68	6.6%	79	7.6%	16	1.5%	163	15.7%
当館ホームページ、メルマガ、Twitter 等	67	6.5%	97	9.3%	9	0.9%	173	16.7%
その他 SNS	9	0.9%	11	1.1%	2	0.2%	22	2.1%
知人・友人に教えられて	63	6.1%	79	7.6%	8	0.8%	150	14.5%
館を訪れてはじめて知った	28	2.7%	31	3.0%	4	0.4%	63	6.1%
その他	9	0.9%	11	1.1%	6	0.6%	26	2.5%

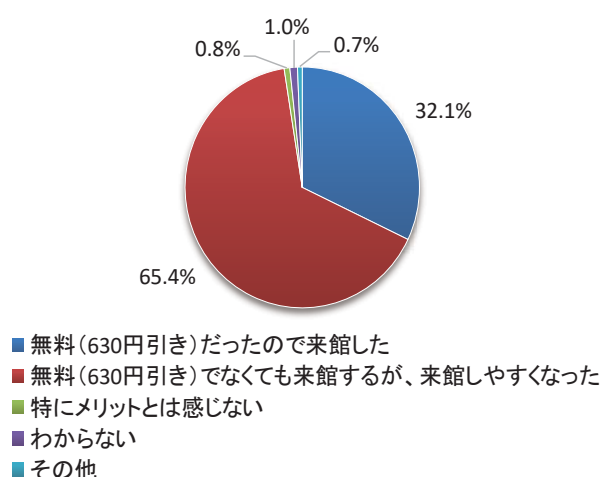
- ・「大学ホームページや大学からのメールで」が一番多い
- ・次点の4項目は、ほぼ同じ割合
「大学に掲示されていたポスター・チラシ等で」
「教員からの（授業での）紹介で」
「当館ホームページやメールマガジン、Twitter で」
「知人・友人に教えられて」

【来館目的】



	回答数	構成比率
常設展見学	421	34.9%
特別展「ミイラ展」(10/14～)見学	445	36.9%
企画展(JAMSTEC 50周年)見学	49	4.1%
企画展「木組」(10/13～11/24)見学	93	7.7%
企画展「生物多様性」(12/14～)見学	13	1.1%
行事・イベントに参加	6	0.5%
大学の授業の一環として	52	4.3%
デートのため	61	5.1%
なんとなく	49	4.1%
その他	16	1.3%

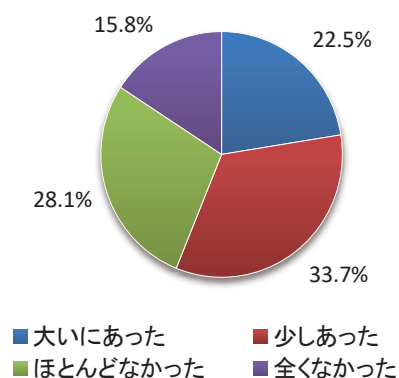
【入館料特典（無料入館、630円引き）をどのように感じるか】



	回答数	構成比率
無料（630円引き）だったので来館した	246	32.1%
無料（630円引き）でなくても来館するが、来館しやすくなった	501	65.4%
特にメリットとは感じない	6	0.8%
わからない	8	1.0%
その他	5	0.7%

・無料や割引が来館の動機になっている

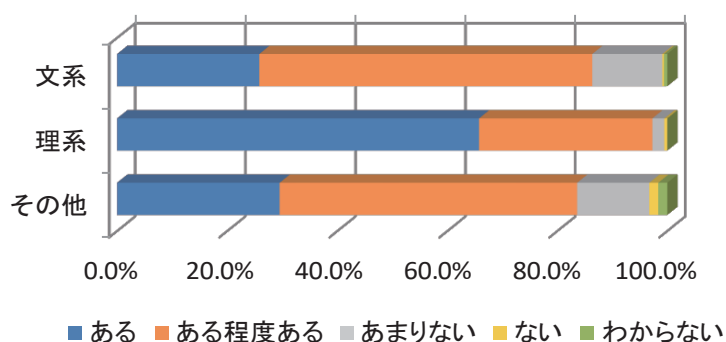
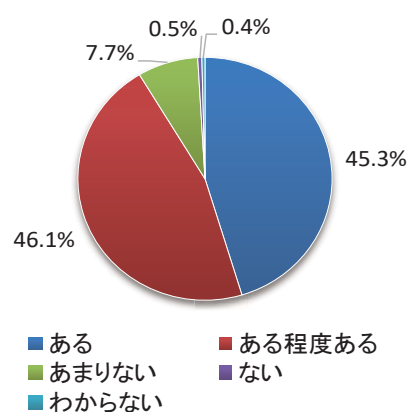
【新型コロナウイルス感染拡大による来館への影響】



	回答数	構成比率
大いにあった	172	22.5%
少しあった	258	33.7%
ほとんどなかった	215	28.1%
全くなかった	121	15.8%

・影響があったのは56%、影響がなかったのは44%
 半数以上が影響があったと回答

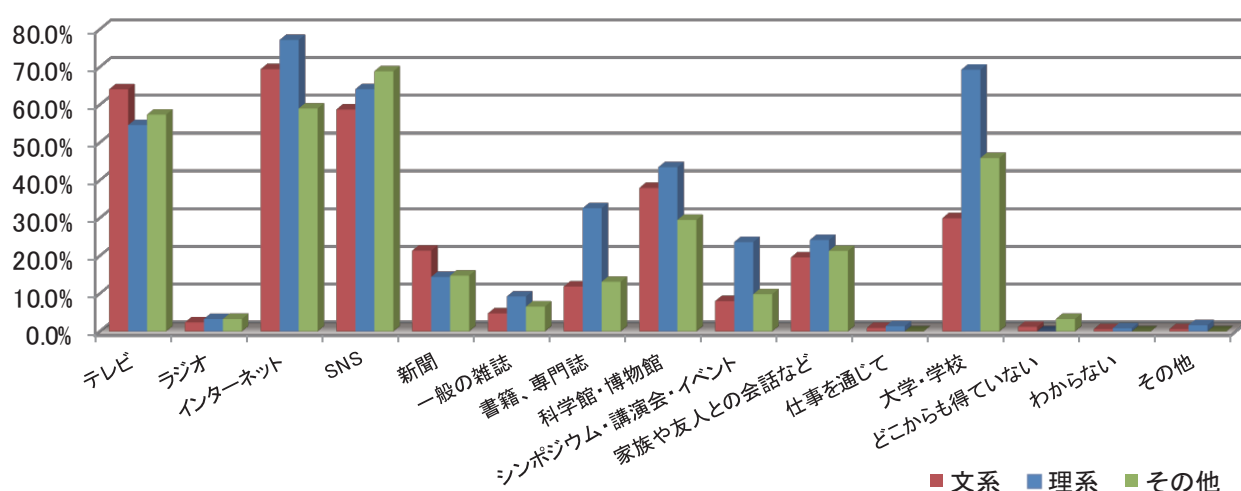
【科学技術についてのニュースや話題への関心】



・関心がある学生がほとんどである

	文系		理系		その他		全体	
ある	87	25.8%	242	65.8%	18	29.5%	347	45.3%
ある程度ある	204	60.5%	116	31.5%	33	54.1%	353	46.1%
あまりない	43	12.8%	8	2.2%	8	13.1%	59	7.7%
ない	1	0.3%	2	0.5%	1	1.6%	4	0.5%
わからない	2	0.6%	0	0.0%	1	1.6%	3	0.4%

【科学技術に関する知識の情報源】（複数回答可）



各区分における上位6項目

順位	全体	文系	理系	分野その他	男性	女性	性別その他
1	インターネット 72.3%	インターネット 69.4%	インターネット 77.2%	SNS 68.9%	インターネット 80.1%	インターネット 66.8%	SNS 77.8%
2	SNS 62.1%	テレビ 64.1%	大学・学校 69.3%	インターネット 59.0%	SNS 60.8%	テレビ 65.2%	インターネット 72.2%
3	テレビ 59.0%	SNS 58.8%	SNS 64.1%	テレビ 57.4%	大学・学校 59.2%	SNS 62.5%	テレビ 66.7%
4	大学・学校 50.1%	科学館・博物館 38.0%	テレビ 54.6%	大学・学校 45.9%	テレビ 49.8%	大学・学校 43.9%	大学・学校 44.4%
5	科学館・博物館 39.9%	大学・学校 30.0%	科学館・博物館 43.5%	科学館・博物館 29.5%	科学館・博物館 37.9%	科学館・博物館 41.4%	科学館・博物館 38.9%
6	書籍・専門誌、 家族・友人 21.9%	新聞 21.4%	書籍・専門誌 32.6%	家族・友人 21.3%	書籍・専門誌 29.3%	家族・友人 23.6%	家族・友人 27.8%

※全体 6 位は、「書籍・専門誌」「家族・友人」の 2 項目
・インターネットや SNS を情報源にする学生が多い

【自由記述(抜粋)】

展示の印象・感想(好意的なもの)	
建物自体もステンドグラスなど趣きがあって居心地が良く、入館料も安いのに常設展だけでも1日では全て見きれないほどの膨大な展示があってとても好きな場所です。	大学4年
地球館の上にぶら下がっていた魚類たちや、恐竜の化石、世界の絶滅危惧種などがレプリカではなくて剥製としてあったのが印象深かった。中には、絶滅してしまった生き物もあり、心が痛んだと共に、これ以上絶滅危惧種を増やしたくないと思った。	大学3年
専門知識を身につけている人でも、少し背伸びして学習したいと思っている人でも楽しめる場所だと思った。	大学1年
シアター36〇と人類史関連の展示が好きです。文系ですが、わかりやすい展示と解説でこの世界の壮さやロマンを感じることができてとても楽しく感じます。これからも定期的に来館したいと思います。	大学2年
地球館地下3階にあった単位の基準となっていたものの展示やクーロンのねじりばかりなどを、以前はさほど面白いとは思わなかったが、授業などで学習した後に見るととても興味深く感じた。	大学1年
ミュージアムショップでは、手ぬぐいやTシャツをはじめ、クリップ等の生き物のデザインなど科学博物館ならではのモチーフとそのデザイン性に感激しました。	大学2年
のび太の名前がついた恐竜のパネルやJAMSTECの海洋企画展などは興味深かった。マッコウクジラの半身模型展示もお気に入り。	大学院生
常設展は、地球館1階のアニメーションと系統樹の展示が好きです。系統樹の展示は、足元の小さな字を見ながら回ると時間がいくらあっても足りません。とても考えられたデザインの展示になっていて大好きです。	大学院生
展示の印象・感想(ご意見)	
様々な年代の方が来るので展示物の説明の難度の調整は難しいと思うが、もう少しわかりやすくかつ細かく説明があるとより良かったと思う。	大学院生
情報量が多すぎて、目が回った。どこから見れば良いのか分からなかった。	大学院生
前に来たときはコロナ前だったので、触れる展示がいくつかあったが、それができなくなったので寂しい。魚の歯の展示など触ってみて分かることもあるので、状況が戻ってほしい。	大学4年
大学パートナーシップ制度への意見・要望	
博物館がとても好きなので、この制度がとてもありがたい。少し安くなる・無料なことで足も運びやすくなる。	大学1年
じっくり見ようと思うと何度か訪れる必要がある施設が無料で入場できるのでとても助かっている。これからも続いて欲しい。	大学4年
まだまだ知らない人が多いので、もっと多くの人に知って欲しい	大学院生
常設展を無料で訪ねられるという点は、博物館に対して親しみやすさを感じられる。大学生は様々な経験を望む中で金銭面に縛られることも多いので、お金を気にせず訪ねられるということはかなり大きいので、この先も是非続けて頂けると嬉しい。	大学2年
大学生のうちに何度も来たいですし、この制度があれば友人等を誘いやすいのでぜひ続けていただきたいと思います。	大学1年
講座の優先受講などは知らなかったもので、そういった情報をパートナーシップ制度を利用しての方に送ってほしいです。	大学2年
この制度がなくとも行くと思うが、この制度があることでより博物館や美術館に訪れるハードルが下がり、訪れやすい存在になっていると思う。 よく一緒に博物館などに行く人は他大学だ。大学によって制度が使える施設と使えない施設がバラバラでありちょっと気まずい思いをする。	大学4年
この度この制度を初めて利用し、すごく満足のゆく時間を過ごすことができた。大学に入学してしばらくしてからこの制度を知ったため、もっと早い段階で知っていればと思った。	大学4年

「国立科学博物館 大学パートナーシップ」 ご利用のみなさま



アンケート調査に ご協力をお願いします

「国立科学博物館 大学パートナーシップ」制度をご利用いただき、ありがとうございます。
本制度をより充実させるために、アンケートを実施しております。大学パートナーシップ入会校のみなさま、ぜひご協力をお願いします。

実施期間：令和3年10月13日（水）～令和3年12月末ごろ（予定）

○結果は後日、大学パートナーシップ入会校へお知らせするとともに、国立科学博物館ホームページで公開します○

アンケートはこちらからご回答ください



※このアンケートはGoogleフォームを使用しています。回答の送信者は特定されません。
※アンケートの回答により発生する通信料は、ご自身のご負担となります。
※館内の以下の場所では公衆無線LAN (Free Wi-Fi) をご利用いただけます。
日本館1F中央ホール、B1Fラウンジ/地球館エスカレーターホール (M2F、1F、B1Fを除く) /中庭

URL
<https://www.kahaku.go.jp/learning/enquete/>

●アンケートの回答方法●

大学パートナーシップ制度や当館のご利用状況に関する質問が20問あります。
上記二次元コードまたはURLからアンケートページにアクセスいただくことで、
お手持ちのスマートフォン、タブレット、パソコンからご回答いただけます。

★ご協力いただいた方に「特製バーチャル背景」をプレゼント★

アンケート回答完了画面に、ダウンロードページのURLが表示されます。
バーチャル背景への設定方法については、ご利用されている
ウェブ会議システムのホームページやヘルプにてご確認ください。



「国立科学博物館 大学パートナーシップ」とは

学生の科学リテラシー向上やサイエンスコミュニケーション能力向上を目的に、
大学等学校と連携して様々な活動を展開する事業です。
入館料の割引や各種講座の優先受講・受講料の減額など、様々な特典が受けられます。



詳しくはこちら



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

Q12.当制度をどのようにPRすると、より利用しやすいでしょうか。ご意見をお聞かせ下さい

Q13.来館目的は何ですか(複数回答可) * (当てはまるものすべてを選択してください)

- 1 常設展見学
- 2 特別展「大英博物館ミラ展 古代エジプトの物語」見学[10/14(木)～]
- 3 企画展「日本の海洋調査への挑戦とあゆみ-JAMSTEC創立50周年記念-」見学
- 4 企画展「木組 分解してみました」見学[10/13(水)～11/24(水)]
- 5 企画展「奈良！日本の生物多様性～標本から読み解く、未来への光～」見学[12/14(火)～]
- 6 行事・イベントに参加
- 7 大学の授業の一環として
- 8 テートのため
- 9 などなく
- 10 その他

Q13-1.(Q13で「その他」を選んだ方)来館目的についてご記入ください

Q14.入館料の特典(常設展は無料、特別展は630円引き)について、どう思いますか *

- 1 無料(630円引き)だったので来館した
- 2 無料(630円引き)でなくても来館するが、来館しやすくなった
- 3 特にメリットとは感じない
- 4 わからない
- 5 その他

Q14-1.(Q14で「その他」を選んだ方)入館料の特典について、どう思うかを記入ください

Q15.新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、来館への影響はありましたか *

- 1 大いにあった
- 2 少しあった
- 3 ほとんどなかった
- 4 全くなかった
- 5 その他

Q16. Q15について、具体的な影響をご記入ください

Q17.当館をご覧になった印象、感想などを自由に記入下さい(例えば印象に残った展示物の名前や、その理由など)

Q18.「大学パートナーシップ」制度に関するご意見・ご要望等がございましたら自由にご記入下さい

く以下は科学技術に関するアンケートです>

Q19.あなたは、科学技術についてのニュースや話題に関心がありますか *

- 1 関心がある
- 2 ある程度関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 関心がない
- 5 わからない

Q20.あなたは普段、科学技術に関する情報をどこから得ていますか(複数回答可)

(当てはまるものすべてを選択してください)

- 1 テレビ
- 2 ラジオ
- 3 インターネット(Webサイト)
- 4 SNS
- 5 新聞
- 6 一般の雑誌(週刊誌・月刊誌など)
- 7 書籍、専門誌(エー・ピー・日経サイエンス、mitなど)
- 8 科学館・博物館
- 9 シンポジウム・講演会・大学や研究機関主催のイベント
- 10 家族や友人との会話など
- 11 仕事を通して
- 12 大学・学校
- 13 どこからも得ていない
- 14 わからない
- 15 その他

Q20-1.(Q20で「その他」を選んだ方)普段、科学技術に関する情報をどこから得ているかを記入ください

【確認メッセージ】

ご協力ありがとうございました。お送りいただいたご意見は、今後の事業運営に役立てていきます。
「特製バーチャル背景」はごちからダウンロードしていただけます→

<https://www.kahaku.go.jp/learning/enquete/screen.php>

※回答はGoogleフォームを使用

「国立科学博物館 大学パートナーシップ」利用者アンケートのお願い

「国立科学博物館 大学パートナーシップ」制度をご利用いただき、ありがとうございます。
本制度をより充実させるため、みなさまのご協力をお願いいたします。
(質問数:20問、所要時間:5分) *必須

Q1.来館された日はいつですか(西暦でご記入ください) *

Q2.大学名・学校名をご記入ください *

Q3.専攻分野について * (1つだけマークしてください)

- 1 文系
- 2 理系
- 3 その他 (→Q3-1に学部・学科等の名称をご記入ください)

Q3-1.(Q3で「その他」を選んだ方)学部・学科等の名称をご記入ください

Q4.学年は * (1つだけマークしてください)

- 1 大学1年
- 2 大学2年
- 3 大学3年
- 4 大学4年
- 5 大学院生
- 6 留学生
- 7 その他

Q5.性別は * (1つだけマークしてください)

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他(答えてください)

Q6.ご来館の人数は(自分を含めて) * (1つだけマークしてください)

- 1 1人
- 2 2人
- 3 3人
- 4 4～9人
- 5 10～19人
- 6 20人以上

Q7.ご来館のグループ構成について、当てはまるもの一つ選んでください *

- 1 同伴者なし
- 2 友人と
- 3 家族・親戚と
- 4 大学の同級生と(授業の一環で来館)
- 5 恋人と
- 6 セミナークルなどの団体で
- 7 その他

Q7-1.(Q7で「その他」を選んだ方)ご来館のグループ構成についてご記入ください

Q8.博物館や美術館を利用する回数はどのくらいですか * (1つだけマークしてください)

- 1 数年に1回程度
- 2 年に1回程度
- 3 年に数回程度
- 4 月に1回程度
- 5 月に数回以上

Q9.当館へ来館されるのは何回目ですか * (1つだけマークしてください)

- 1 初めて
- 2 2回目
- 3 3回目
- 4 4回目以上

Q10.「大学パートナーシップ」(常設展無料・特別展割引)を利用して来館されたのは何回目ですか *

- 1 初めて
- 2 2回目
- 3 3回目
- 4 4回目以上

Q10-1.(Q10で「初めて」を選んだ方)これまで当制度を利用されなかったのはなぜですか(複数回答可)

(当てはまるものすべてを選択してください)

- 1 制度を知らなかったから
- 2 知ってはいたが、なかなか利用する機会がなかった
- 3 興味がうすかった
- 4 大学から遠いため来館しにくかった
- 5 興味を持っている同伴者を探すのが難しかった
- 6 利用の仕方がよくわからなかった
- 7 その他

Q10-2.(Q10-1で「その他」を選んだ方)これまで当制度を利用されなかった理由について、ご記入ください

Q11.「大学パートナーシップ」制度による無料入館をどのようにして知りましたか(複数回答可)

(当てはまるものすべてを選択してください)

- 1 大学に展示されていたポスター・チラシ等
- 2 大学HPや大学からのメールで
- 3 教員からの(授業での)紹介で
- 4 当館HPや当館のメールマガジン、Twitter等で
- 5 その他のSNSで
- 6 知人・友人に教えられて
- 7 館を訪れてはじめて知った
- 8 その他

Q11-1.(Q11で「その他」を選んだ方)無料入館をどのようにして知ったのか、ご記入ください